

平成29年8月末日

各都道府県教育委員会教育長 様
各都道府県国語教育研究団体長 様
各 学 校 長 様
各 校 国 語 科 教 諭 様

全国高等学校国語教育研究連合会（全国連）
会 長 佐藤 和彦（東京都立広尾高等学校校長）
全国連第50回研究大会兵庫大会
実行委員長 小山 智久（兵庫県立長田高等学校校長）

全国高等学校国語教育研究連合会 第50回研究大会 兵庫大会 兼 兵庫県高等学校教育研究会国語部会70周年記念秋季研究協議会

《 最 終 案 内 》

第50回研究大会兵庫大会を下記の要項に従って、兵庫県高等学校教育研究会国語部会の70周年記念秋季研究協議会と兼ねて開催いたします。

高等学校学習指導要領の改訂が今年度末に予定される中、1日目の11月16日には、総会に引き続いて文部科学省講話を予定しています。午後には、人間国宝であった三代目桂米朝師匠の一門から、桂米團治氏に米朝師匠の数多くの業績を人となりをお話していただくとともに、高弟の桂ざこば氏に落語を披露していただきます。さらには、「国語」に関わるさまざまなテーマに分かれての分科会を予定しています。

2日目の11月17日には、分散会として、兵庫県内の阪神・神戸・播磨地区の特色ある県立、神戸市立、私立の高等学校、中等教育学校8校を会場に、公開授業、研究発表・研究協議を行います。また、午後の文学研修では、兵庫県にゆかりのある文学に加えて、歴史的建造物にも触れていただけるコースをご用意いたしました。

神戸では、開港150年を迎え、多くの記念事業が行われています。「学びの専門家」としての資質能力の向上の一機会として、全国から多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、予定していた時期から最終案内の発送が遅れましたことをお詫び申し上げます。

兵庫大会開催要項

大会主題 「 国語教師のアクティブ・ラーニング —— 主体的・対話的で深い学びの実現 —— 」

- 1 主 催 全国高等学校国語教育研究連合会 兵庫県高等学校教育研究会国語部会
- 2 後 援 文部科学省 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 兵庫県私立中学高等学校連合会
兵庫県立学校長協会 兵庫県市立高等学校長会 一般財団法人兵庫県学校厚生会
- 3 期 日 平成29年11月16日（木）・17日（金）
- 4 日 程 第1日 全体会（歓迎アトラクション、総会、文部科学省講話、記念講演、分科会）
第2日 分散会（公開授業、研究発表・研究協議） 文学研修
- 5 会 場 第1日 神戸芸術センター
兵庫県神戸市中央区熊内橋通7-1-13（新幹線「新神戸駅」から徒歩5分）
第2日 兵庫県内の高等学校・中等教育学校8校 文学研修3コース
- 6 参加費・資料代 7,000円（参加費 3,000円 資料代 4,000円）

※第1日の分科会、第2日の分散会は、各会場の都合により参加者人数に制限があります。

受付	ニオ ング グ	休憩	開会式 ・総会	文部科学省講話	諸 連絡	昼休み	記念講演 (桂米團治氏・桂ざこば氏)	休憩	分科会 (ワークショップ等)
----	---------------	----	------------	---------	---------	-----	-----------------------	----	-------------------

■オープニング 歓迎アトラクションとして、神戸市立兵庫商業・神港橋高等学校龍獅團による神戸市地域無形民俗文化財南京町春節祭で舞う龍舞と獅子舞が披露されます。

■文部科学省講話 講師：大滝^{おおたき}一登^{かずのり}氏(文部科学省初等中等教育局視学官)

■記念講演

講演

演題：「父、米朝を語る」

講師：桂 米團治氏



落語披露

演目：「一文笛」

演者：桂 ざこば氏



概要

人間国宝であった三代目桂米朝師匠が、滅びかけていた上方落語を今日のように復興させるまでの間にどのようなドラマがあったのか。落語の演者、研究者、創作者として、弟子を育てる教育者として、上方文化を育てる文化人として、さらに子どもを育てる父親としてなど、さまざまな側面から、弟子であり、ご子息である五代目桂米團治氏ならではの視点で語られます。さらには落語の文芸性、話芸の魅力にまで言及される予定です。講演の後、米朝師匠の作った落語「一文笛」を一門の高弟、桂ざこば氏が披露します。

■分科会：授業で使える「主体的・対話的で深い学び」のヒントをご用意しました。

第1分科会 『コミュニケーション教育の現在— 2020年大学入試改革を見据えて—』

平田 オリザ氏(劇作家・演出家)

昨今、社会では、コミュニケーションの問題が、いささかヒステリックなほどに取りざたされています。では、そこで要求されているコミュニケーション能力とは何なのか。はたしてそれは、学校教育で身につけるべきものなのか。

最先端のコミュニケーション教育の動向を紹介しながら、問題の整理を試みます。



撮影：青木司

第2分科会 『句会ライブ』

夏井 いつき氏(俳人・エッセイスト)

「俳句の種を播く」というライフワークのために考案した「句会ライブ」を行います。「俳句ってこれでいいんだ」と、俳句への固定観念が塗り替わります。作句の基本的な方法の伝授。全員での作句。そこから選ばれた句の紹介と添削の提案など、俳句の授業を劇的に変える要素に満ちています。「ことばを育てることは心を育てること。」俳句を通して、この思いを伝えます。



MBS / TBS 系全国ネット
木曜夜7時「プレバト!!」

第3分科会 『文法教育の効用』

町田 健氏(言語学者)

日本語の文章を正確に理解するためにも、正しく理解してもらえる文章を自分で書くことができるようになるためにも、日本語がどのような仕組みで作られているのか、つまり日本語の文法を知ることが非常に重要です。この分科会では、文、文節、語などの単位についての問題や、語の活用、事柄が成立する時間に関わる表現、主語と主題など、日本語の文法を構成する主要な問題について、分科会に出席された方々にも考えていただきながら、解説をいたします。



第4分科会 『文学作品 in アクティブラーニング』 たつみ 都志氏(谷崎潤一郎研究者・小説家)

「細雪」など近代文学作品を題材としたアクティブラーニングの実践例を紹介します。

文学の面白さを学ぶと同時に、広く深い視野を持ち、問題点を見つけて考察する力、表現する力を身につけさせるために、高校の教育現場でぜひ、採り入れて欲しいことをお話しします。



第5分科会 『身体のコミュニケーション機能とスピーチ』

荒井 好一氏(一般社団法人日本プレゼン・スピーチ能力検定協会理事長)

「目にケーション・手にケーション・声にケーション」の3つを柱に、プレゼンテーション能力を向上させる秘訣を伝授します。相手を引きつけるちょっとした工夫、それを知り、マスターすることで授業がより魅力的なものになります。また生徒の発表指導においても、指導するポイントがつかめます。具体的に実践的なスキルアップ講座です。スマートフォンなど、動画を撮影できる機器を持参してください。



第1

分散会場

兵庫県立神戸高等学校

神戸市灘区域の下通 1-5-1 (地図 ①)

受付

公開授業

休憩

研究発表・研究協議

昼食移動

文学研修

9:00 9:35

10:40 10:50

12:00

前身は「神戸一中」「県一高女」創立 121 年にあたる。勉学と部活動の両立、実践力を備えた人間づくり。勉学のほか、部活動や学校行事を通じ人間教育にも力点を置く。科学教育の充実、情操教育の深化、国際性の涵養。SSH指定校。

	公開授業①	公開授業②	公開授業③	公開授業④
科 目	1 年国語総合・現代文	1 年国語総合・漢文	2 年現代文 B	2 年古典 B
教 材	「城の崎にて」	「雑説」	「科学・技術と生活空間」	「蜻蛉日記」
単 元 目 標	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「C 読むこと」
授 業 者	大西 ゆりか	荒木 勝一郎	磯貝 祥史	中井 一弘
	研究発表①		研究発表②	
テ ー マ	古作文に挑戦		グループ学習を活用した授業デザイン ～協働学習の視点から効果的なグループ活動を考える～	
概 要	文法事項を定着させる目的で、古典文法を用いて作文させることを試みた。言語活動を通じて課題を解決する能力も養うため、アクティブ・ラーニング型授業を導入した。参加者のみなさんに授業内容を経験していただくため、今回の発表はワークショップ形式とさせていただく。		夏目漱石「こころ」、丸山真男『「である」ことと『「する」こと』を教材としてグループ学習を取り入れた授業実践を行った。試行錯誤を繰り返す中での成功例、失敗例を紹介しながら、効果的なグループ活動について考えていきたい。	
発 表 者	坂田 充範（県立加古川東高等学校）		上月 さやこ（県立三田西陵高等学校）	

文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース	バスと J R で 35 分
	B 明石・須磨コース	バス又は J R 又は阪急電車で 30 分
	C 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。

第 2 分散会場	神戸市立六甲アイランド高等学校		受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食 移動	文学研修
	神戸市東灘区向洋町中 4-4 (地図 ②)		9:00 9:40	10:30 10:45		12:00		
全日制普通科単位制高校。学習の分野を 7 つの「系」に再編成し、2 年次生から各自の興味・関心や進路に必要な分野に取り組み、将来の進路実現を効果的に行う。また、文部科学省 S S H にも指定されている。県下最大の公立高校のひとつ。								
	公開授業①		公開授業②		公開授業③			
科 目	1 年国語総合・古文		3 年現代文 B		3 年現代文 B			
教 材	「中古・中世の物語」		「萩原朔太郎の詩」		「評論」			
単 元 目 標	歌を通じて交わされる登場人物の 思いを考える。 「C 読むこと」		口語自由詩の成立とテーマを理解する。 「C 読むこと」		文章の論理展開の型を把握させる。 「C 読むこと」			
授 業 者	中村 智・西村 敏明・橋田 尚志 (3 教室)		水川 景三		濱田 啓			
	研究発表①			研究発表②				
テ ー マ	「短詩型文学」におけるアクティブ・ラーニング			「問い」と向き合う教材開発 ～学びを深める仕掛けの試作～				
概 要	短歌創作の授業で行っているアクティブ・ラーニング型授業について発表する。模擬授業も行う。			文章を選んで問いを立てる——「教材」と「問い」のふたつを掛け合わせると、生徒たちは驚くほどに生き活きと、自身の考えを語り出す。彼らが原稿用紙に書き綴った言葉と、学びを深める授業展開を提示。素材選びのポイントと、問いの工夫を分析する。				
発 表 者	佐田 憲三 (神戸市立六甲アイランド高等学校)			智原 あや (尼崎市立尼崎双星高等学校)				
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース		六甲ライナーと J R で 30 分					
	B 明石・須磨コース		六甲ライナーと J R で 30 分					
	C 姫路コース		移動時間の関係で案内しません。					

第3
分散会場

神戸山手女子高等学校

神戸市中央区諏訪山町 6-1 (地図 ③)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:50		10:35 10:45		12:00	

大正13年創立、普通科はS特進、特進、進学の3コース、音楽科は2専攻を設置。「自学自習・情操陶冶」を建学の精神に掲げ、社会で役立つ力を育む独自のキャリア教育にも注力し、豊かに自立した人間性を育成する。

	公開授業①		公開授業②	
科 目	1 年国語総合・現代文		2 年現代文B	
教 材	「富嶽百景」		「日本人の美意識」	
単 元 目 標	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 「C 読むこと」		評論を読みそこに提示された問題について自分の意見を表現する。 「C 読むこと」	
授 業 者	川村 吉明		御子柴 花観	
	研究協議①		研究協議②	
テ ー マ	「このタイトルってなんだろう？」 ～「象徴」をつかんで、使って、実感！！～		「私の主張は〇〇です。」 ～「対比」をつかんで、使って、実感！！～	
概 要	公開授業①を踏まえ、レトリックを見抜くことや論理的な読解法を学び始めた生徒たちに、自分で使う、つまり「書く」ということを通して「象徴」をつかんで「実感」させる小説読解の在り方について協議を深める。		公開授業②を踏まえ、イコールの関係、対立関係、因果関係などの論理構造を学びつつある生徒たちに、表現活動を通じて、人間の本質や価値観、生き方などについて自分の考えを持たせる授業の工夫について協議を深める。	
発 表 者	川村 吉明（神戸山手女子高等学校）		御子柴 花観（神戸山手女子高等学校）	
	下浦 広章（県立尼崎高等学校）			
文学研修 集合場所 までの 所要時間	A 阪神コース		J R で 35 分	
	B 明石・須磨コース		バス又は地下鉄で 25 分	
	C 姫路コース		移動時間の関係で案内しません。	

第4
分散会場

灘高等学校

神戸市東灘区魚崎北町 8-5-1 (地図 ④)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40		10:30 10:40		12:00	

昭和2年、灘五郷の酒造家の篤志を受けて創立。創立に際し東京高等師範学校校長兼講道館館長の嘉納治五郎氏を顧問に迎えた。校是『精力善用』『自他共栄』による、リベラルな校風と担任持ち上がり制による中高一貫教育が特色である。

	公開授業①	
科 目	1 年国語総合・現代文	
教 材	「トロンボーンを吹く女子学生」	
単 元 目 標	ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 「C 読むこと」	
授 業 者	井上 志音	
	研究発表①	
テ ー マ	国際的視野を育む国語教育	
概 要	学習者の主体的な「問い立て」を主軸に据えた探究型の授業づくりについて、これまでの研究成果を示す。 現代文を通じて、クリティカルな思考力の育成を目指す。	
発 表 者	井上 志音（灘高等学校）	
文学研修 集合場所 までの 所要時間	Ⓐ 阪神コース	J Rで 35 分
	Ⓑ 明石・須磨コース	J R又は阪神電車で 25 分
	Ⓒ 姫路コース	移動時間の関係で案内しません。

普通科、演劇科、グローバルサイエンス科の3つの学科の特色をそれぞれ活かしながら、生徒の学力向上と進路実現に向けて、補習や高大連携事業などを実施している。部活動においては最近、水泳部・放送部・美術部が全国大会に出場している。

	公開授業①	公開授業②	公開授業③
科目	1年国語総合・現代文	2年現代文B	3年古典B
教材	「羅生門」	「疑似群衆の時代」	「大鏡」
単元目標	作品についての自分の考えを、論理の構成や展開を工夫して述べる。 「A 話すこと」	文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 「C 読むこと」	古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 「C 読むこと」
授業者	清水 勉	岩島 淳	大道 正
	研究発表①	研究発表②	
テーマ	身につけさせたい「資質・能力」を明確化した、スキルアップドリルの開発	「三角ロジック」を用いて、根拠立てて表現する力をつける	
概要	教科特有の「見方・考え方」としての「言葉の働き、役割に関する理解と使い分け」の能力を養いつつ、評価規準としての「CAN-DO リスト」を明確化することで「見通し」と「ふり返し」によるメタ認知（汎用的スキル）を育み、主体的な学びを起こすことを目指す。	本発表は、定時制高校の生徒を対象に、小説や評論などを教材として、「主張」「事実」「理由づけ」の3つの観点（「三角ロジック」）から情報を整理して、根拠立てて自分の「主張」を伝える力（教科等を横断する汎用的なスキル）をつける試みである。	
発表者	藤田 遼（県立鳴尾高等学校）	勝部 尚樹（県立農業高等学校 定時制）	
文学研修 集合場所 までの 所要時間	[A] 阪神コース バスとJRで60分 [B] 明石・須磨コース バスと阪急電車で60分 [C] 姫路コース 移動時間の関係で案内しません。		

2003年に開校した中高一貫校。一般の中学校・高等学校にあたる前期課程・後期課程の6年間で、異なる文化を理解・尊重し、多文化共生社会の実現に貢献する生徒の育成を目指す。

	公開授業①	公開授業②
科目	5年次国語表現	6年次国語表現
教材	「ディベート」	「メディア・リテラシー」
単元目標	話し合い活動を通して、論理的に話す力を身につける。 「A 話すこと・聞くこと」	メディアの特性を理解し、活用できる力を養う。 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」
授業者	植山 早紀	杉谷 圭志
	研究発表①	研究発表②
テーマ	「実用物語文」 ～意図を持って『表現』し、『表現』の意図を『読む』姿勢を養う授業を目指して～	ジグソー法を用いた授業への挑戦その成果と課題
概要	物語文読解の授業を行う目的を考えたとき、真っ先に思い浮かぶのは「主人公の心情を読み取る」、「作品の主題を考える」、「〇〇心を養う」というフレーズである。しかし「資質・能力の育成」を念頭に置いたとき、物語文にそれ以外の方向性を見出すことができないだろうか。	ジグソー法の型を利用し、主体的な読者をいかにして育むのか、これまで一斉教授型の授業しか行っていなかった授業を変えていくことができるかに挑戦した。課題は多く、課題の解決に向けて協議を深めていきたい。
発表者	名田 美賀（県立東灘高等学校）	吉田 卓馬（県立神戸鈴蘭台高等学校）
文学研修 集合場所 までの 所要時間	[A] 阪神コース バスで20分 [B] 明石・須磨コース バスとJR又はバスと阪神電車で40分 [C] 姫路コース 移動時間の関係で案内しません。	



第7
分散会場

兵庫県立太子高等学校

揖保郡太子町糸井19 (地図 ⑦)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
9:00 9:40		10:30 10:40		12:00	

コミュニケーション能力を高め、社会に適応していく生徒を育てていくことを目標に、アクティブ・ラーニングによる授業やプレゼンテーション学習を通じて、生徒同士・地域・社会との「つながり」を大切にした教育を実践。

	公開授業①	公開授業②
科目	1年次国語総合・古文	3年次選択国語表現
教材	「土佐日記」	「メディア・リテラシーの育成」
単元目標	登場人物の心情の変化を的確にとらえる。 「C 読むこと」	メディアによる表現の特色や効果について理解を深める。 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」
授業者	中村 碧	吉倉 健人
	研究発表①	研究発表②
テーマ	主体的・対話的な活動によるメディア・リテラシーの育成 ～MVを読む学習を通して～	深い学び はじめの一步 ～主体的で対話的な学びを目指して～
概要	生徒を取り巻く言語環境を考えると、国語科で扱う教材の幅を拡大する必要があるといえる。また画像や音声メディアは、生徒の主体的・対話的な活動を促す糸口にもなる。そこで本実践ではMVを集団で「読む」活動を通して、生徒のメディア・リテラシーの育成を目指している。	課題発見、意見交換、自らに問い直す深い学びの場を与える授業の実践報告。夏目漱石の「こころ」を、生徒が主体的に授業計画を立て実践した。協働と無為、共感と批判、生徒も教師も様々な反応を示したが、そこから「深い学び」の意味が見えてきた。
発表者	吉倉 健人 (県立太子高等学校)	岩本 麻衣子 (県立加古川北高等学校)
文学研修 集合場所 までの 所要時間	[A] 阪神コース 移動時間の関係で案内しません。 [B] 明石・須磨コース 徒歩とJRで70分 [C] 姫路コース 徒歩とJRで25分	

第8
分散会場

兵庫県立姫路西高等学校

姫路市北八代2-1-33 (地図 ⑧)

受付	公開授業	休憩	研究発表・研究協議	昼食移動	文学研修
8:45 9:25		10:20 10:30		12:00	

「質実剛健」「自主創造」「友愛協調」を校訓とし、哲学者の和辻哲郎をはじめ多くの人材を輩出した、来年度創立140周年を迎える伝統校である。スーパーグローバルハイスクールに指定されており、来年度国際理学科が開設される。

	公開授業①	公開授業②
科目	1年国語総合・古文	2年現代文B
教材	「枕草子」	「言語が見せる世界」
単元目標	文章に書かれた人物の心情を確かめる。 「C 読むこと」	文章の構成や展開を確かめる。 「B 書くこと」「C 読むこと」
授業者	日浦 真耶	木岡 智子
	研究発表①	研究発表②
テーマ	「やってたよAL、やってみたよAL」	グループ学習を通じて歌ことばのイメージを育む ～『歌ことば歌枕大辞典』を使って～
概要	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の構築に向けて、現代文を主としたこれまでの実践をアクティブ・ラーニングの観点に沿って再検討するとともに、「対話的」「内化・外化」に焦点を当てた新しい試みを紹介する。対象教材は、「山月記」「舞姫」「神様」「センター試験・二次入試対策」など。	新古今和歌集の6首の解釈をするというグループ学習を通じて、生徒たちの学習意欲を高め、今後、生徒自身が主体的に深い学びへと向かっていくことを目的とした授業を試みた。生徒の意欲喚起だけに留まらない、より深い学びになるようなグループ学習について考えたい。
発表者	松浦 弘幹 (県立姫路別所高等学校)	新庄 真実 (県立神崎高等学校)
文学研修 集合場所 までの 所要時間	[A] 阪神コース 移動時間の関係で案内しません。 [B] 明石・須磨コース バスとJRで70分 [C] 姫路コース バスで25分	

※本研究大会の情報は、以下の兵庫県高等学校教育研究会国語部会のホームページでもご案内しています。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kokugobukai/>

文学研修

A 阪神コース〔芦屋市谷崎潤一郎記念館～倚松庵〕

たつみ都志先生の案内で谷崎潤一郎記念館と谷崎旧邸「倚松庵」に行きます。記念館で軽いレクチャーのあと、特別展示「春琴抄」を見ます。倚松庵では『細雪』の舞台であることを実感し、作品理解を深めましょう。

14:00	14:15	15:00	15:30	17:00
JR芦屋駅（南口）集合・発	=	芦屋市谷崎潤一郎記念館	=	倚松庵（現地解散）
阪神魚崎駅まで徒歩約5分、JR住吉駅まで徒歩約12分				

備考 ① 定員30人

② 移動にはタクシーまたは貸し切りバスを利用します。

③ このコースに参加を希望される方は、分散会に太子高校、姫路西高校以外をお選びください。

参加費 2,000円（記念館入場料400円、タクシーまたはバス代）

B 須磨・明石コース〔須磨寺～移情閣（孫文記念館）～明石〕

『源氏物語』『平家物語』ゆかりの「須磨寺」を散策し、三層八角形の大正モダンな「移情閣（孫文記念館）」から明石海峡大橋をながめ、夏目漱石が講演を行った明石の「中崎公会堂」を訪れるコースです

14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:15	16:45	17:00	
JR三宮駅（東口）集合・発	=	須磨寺	=	移情閣（孫文記念館）	=	中崎公会堂	=	明石駅解散

備考 ① 定員30人（最少催行人員20人）

② 移動には貸し切りバスを利用します。

参加費 2,500円（移情閣入場料300円、バス代）

C 姫路コース〔姫路文学館～姫路城〕

城を借景として安藤忠雄氏が設計した姫路文学館内の回廊を巡り、桂米朝氏や播磨ゆかりの作家・学者の展示について学芸員が解説します。その後、世界文化遺産の姫路城を歴史講師が案内します。

13:45	14:00	14:50	15:10	17:00
JR姫路駅（中央口）集合・発	=	姫路文学館	=	姫路城（現地解散）
姫路駅まで徒歩約15分				

備考 ① 定員30人

② JR姫路駅から姫路文学館への移動にはタクシーを利用します。

③ このコースに参加を希望される方は、分散会に太子高校、姫路西高校をお選びください。

参加費 2,000円（姫路文学館入場料300円、姫路城入場料1,000円、タクシー代）

★ 情報交換会のご案内 ★

日時：平成29年11月16日（木） 第1日目

時刻：18時30分から

会場：ホテル北野プラザ六甲荘（公立学校共済組合神戸宿泊所）（[地図](#) [B](#)）

〒650-0002 兵庫県 神戸市中央区北野町 1-1-14

TEL 078-241-2451

会費：5,000円

日々の国語教育の実践について、情報交換し合える場にしたいと思っています。

全国から多数の先生方のご参加をお待ちしています。

